

K断層の連続性評価(原電)

補正申請にて、当社は以下の理由からK断層は南方には連続しないと評価しました。

- ・道路ピットの南方から2号機原子炉建屋の間には、K断層の走向、傾斜、過去のずれの向き（最新活動面の変位センス）等が同じ破砕部はない。
- ・また、K断層に最も近いボーリング孔の破砕部には鉱物脈法を適用し、K断層との活動時期が異なる（K断層より非常に古い）と評価。→K断層は、原子炉建屋直下を通過する破砕帯と連続しない。

**K断層の南方の
ボーリング孔 14本**
(14本中に、計133箇所
の破砕部を確認)

